

第2期釜石市スポーツ推進計画

令和4年度

釜石市スポーツ推進課

【目次】

第1章 計画の概要

1 計画の趣旨	• P 1
2 計画の役割	• P 1
3 計画の期間	• P 1
4 計画の基本方針	• P 1
5 計画の目標	• P 2

第2章 施策の体系

○ 基本方針	• P 3
--------	-------

○ 基本目標 1 「市民（生涯）スポーツの振興」

1. 現状と課題	• P 4
2. 施策の方向性と具体的な取組み	• P 4
(1) スポーツ推進委員活動の展開	• P 5
(2) 市民スポーツ大会（イベント）の開催	• P 6
(3) スポーツ講習会等の開催	• P 7

○ 基本目標 2 「スポーツによる交流人口の創出」

1. 現状と課題	• P 8
2. 施策の方向性と具体的な取組み	• P 9
(1) 姉妹都市等とのスポーツ交流	• P 9
(2) スポーツ大会の開催	• P10
(3) 地域間でのスポーツ交流	• P11
(4) 合宿誘致の推進	• P11

○ 基本目標 3 「スポーツ関係団体等との連携強化」

1. 現状と課題	• P12
2. 施策の方向性と具体的な取組み	• P12
(1) 関係団体の充実と支援	• P13
(2) 大学チーム等との連携	• P13
(3) 学校との連携及び支援	• P14
(4) 総合型地域スポーツクラブの支援	• P15

○ 基本目標 4 「スポーツ施設の利用促進」

1. 現状と課題	• P16
2. 施策の方向性と具体的な取組み	• P16
(1) スポーツ施設の適正管理	• P16

(2) スポーツ施設の整備	P18
(3) 合宿誘致の推進	P19

第3章 事業の推進にあたって期待される各々の役割

○行政及び団体	P20
○市民、関係機関等	P21

資料編

釜石市のスポーツ関連施設

(1) スポーツ施設の状況	P22
(2) 学校開放施設の状況	P23
(3) 公民館の状況	P23

各種データ

表 1 市民1人あたりのスポーツ施設利用回数	P24
表 2 体育施設の利用状況	P24
表 3 釜石市体育協会加盟団体数	P24
表 4 スポーツ少年団の活動状況	P24
表 5 スポーツ少年団の種目別団員数	P25
表 6 スポーツ推進委員の活動状況	P25
表 7 学校開放の利用状況	P25
表 8 健康マラソン大会の参加者数	P25
表 9 仙人峠マラソン全国大会の参加者数	P26
表 10 ラグビックドリーム事業等の実施状況	P26
表 11 釜石はまゆりトライアスロン国際大会の実施状況	P26
表 12 釜石オープンウォーターの実施状況	P26
表 13 各種大会への補助等の状況	P26

はじめに

当市では、東日本大震災という未曾有の災害から復興を図る中において、スポーツを通じていきいきと健康に、交流を図れるまちづくりを目指し、平成24年に策定した「釜石市スポーツ推進計画」に則し取組んでまいりました。

ハード面では、市民のスポーツへの継続的な参画や施設等の環境を新たに整備すべく、釜石球技場や鵜住居復興スタジアムの新設、災害復旧による市民体育館を再設し、施設の充実を図ってまいりました。

ソフト面では、健康長寿を目的とした市民参加型の活動や、友好都市とのスポーツを通じた継続的な交流事業での交流人口の増加に取組んだ他、地域の活性化や競技力向上のための各種競技大会を再開すると共に、平成26年に開催された希望郷いわて国体では、7人制ラグビーとトライアスロンの競技大会が開催され、多くのアスリートの活躍を市民が目にすることができます。

また、世界的スポーツの祭典であるラグビーワールドカップ2019日本大会では、東北で唯一の会場と選定され、台風第19号で1試合が中止になったものの、パシフィックネーションズカップを含め2試合の国際試合が開催され、東北の被災地を代表して、世界に向けて支援の感謝と復興を伝えることができました。

その反面、人口減少や少子高齢化を理由とした、市民のスポーツへの関心度向上・触れる機会の創出や、ラグビーワールドカップ2019日本大会岩手・釜石開催を契機とした、「ラグビーのまち釜石」の効果的な発信が課題となっており、復興期のスポーツを取り巻く環境から新たなフェーズに進むためにも、今後のスポーツ振興をより総合的、かつ効果的に推進することが必要となっております。

施設においては、老朽化などに伴う維持補修や大規模改修、建替えが必要と想定される施設があり、今後を見据えた適切な維持管理や施設配置を行う必要があります。

これらの課題を解決し、市民の豊かな生活と新たな価値を生み出せるよう、市民が「する・みる・ささえる」という形で、スポーツへ自発的参画できるよう「つくる/はぐくむ・あつまり、ともにつなげる・誰もがアクセスできる」3つの視点を取り入れたスポーツを推進することとし、国の「第3期スポーツ基本計画」や「岩手県スポーツ推進計画」を参照し、釜石市スポーツ推進審議会などからの意見を受けながら新たに「第2期釜石市スポーツ推進計画」を策定しました。

これまで同様に、行政だけでなく、地域やスポーツ団体、企業、学校などあらゆる立場の市民が一体となり、生涯を通じて誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指してまいります。

第1章 計画の概要

1 計画の趣旨

生涯スポーツ社会を目指して市民一人ひとりが主体的にスポーツに関わっていくことをを目指し、スポーツを通して市民がいきいきと、そして健康に暮らすとともに、スポーツの機会を創ることで愛好者や観戦者同士がさわやかに交流し合い、スポーツ文化の醸成とスポーツによるコミュニティの深化を図ってまいります。

更には、地域や学校、関係団体、企業などの協力のもと、市民の一人ひとりが気軽にスポーツに親しみながら、体力の向上や健康づくりを目的とした運動、レクリエーション活動を楽しむことができるような環境をつくるため、市民と地域、スポーツ団体、行政などが互いに連携・協力し合う「地域協働型」を基本として、それぞれが果たすべき役割を担いつつ具体的な施策についても展開するために第2期釜石市スポーツ推進計画を策定します。

2 計画の役割

- ①この計画は、第六次釜石市総合計画に対応し釜石市における今後のスポーツ振興の目標となるものです。
- ②この計画は、市民、団体、事業者、行政の適切な役割分担のもとに、それぞれが一体となってスポーツの振興、体力の向上、健康づくりを推進していく基本的・総合的な性格を持っています。
- ③この計画は、それぞれの主体が活動する際の基本的な指針として、自主的で積極的な参画を求めるものです。
- ④この計画の実施にあたっては、スポーツを通じた各種取組みにおいて市民や団体、事業者、行政が相互に連携しながら、協働して推進します。

3 計画の期間

この計画の期間は、令和4年度を初年度に、同13年までの10年間とします。なお、社会情勢の著しい変化等があった場合には、必要に応じて計画を見直します。

4 計画の基本方針

「豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進」を基本方針とします。

5計画の目標

(1) 計画の目標値

この計画を推進するにあたって、以下の目標値を設定します。

指 標	R2	R4	R7	R9	R12	R13
市民一人当たりの 体育施設利用回数	4.21 回	4.30 回	4.50 回	4.90 回	5.00 回	5.10 回
スポーツ合宿 誘致団体数	0 団体	10 団体	13 団体	14 団体	15 团体	15 団体
市民一人当たりの健康 づくり教室利用回数	0.26 回	0.27 回	0.30 回	0.36 回	0.40 回	0.43 回
スポーツ競技団体数	37 協会	38 協会				

※令和 2 年度.7 年度.12 年度は第六次総合計画の成果指標値。

※令和 4 年度.9 年度.13 年度は第 2 期スポーツ推進計画の目標値。

(2) 計画の進行管理

計画を実効性のあるものとするためには本計画に記載されている施策を着実に実行し、その進捗状況や成果についても定期的に点検・評価し、さらにその取り組みを次の段階へとフィードバックしながら展開していくことが必要です。

このため、計画の進行管理は、
PLAN（計画）/DO（実行）/CHECK（確認）
ACTION（改善）のサイクルで行います。



個々の施策や事業の評価については、設定された数値目標などを用いながらスポーツ推進審議会を通じて評価するとともに、教育委員会の所管する事務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成 20 年 4 月に一部改正し施行されたことに伴い、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について識者 7 名からなる意見聴取会を開催して点検・評価し、同時に報告書も作成して釜石市議会に提出、公表します。

第2章 施策の体系

釜石市スポーツ振興計画における施策の体系は、以下のとおりとします。

基本方針

豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

1. 市民（生涯）スポーツの振興

- ・スポーツ推進委員活動の展開
- ・市民スポーツ大会の開催
- ・スポーツ講習会等の開催

2. スポーツによる 交流人口の創出

- ・姉妹都市等とのスポーツ交流
- ・スポーツ大会の開催
- ・地域間でのスポーツ交流
- ・合宿誘致の推進

3. スポーツ関係団体等 との連携強化

- ・関係団体の充実と支援
- ・大学チーム等との連携
- ・学校との連携及び支援
- ・総合型地域スポーツクラブの支援

4. スポーツ施設の 利用促進

- ・スポーツ施設の適正管理
- ・スポーツ施設の整備
- ・合宿誘致の推進

基本目標1．市民（生涯）スポーツの振興

1. 現状と課題

釜石市では、各地区の公民館や団体等で様々なスポーツ活動が行われていますが、参加者の固定化や減少が指摘される一方で、市民の運動不足や健康増進の必要性なども問われており、幅広くスポーツに親しむことができるような動機付けや機会の創出が必要です。

また、広く市民スポーツの推進を担うスポーツ推進委員については、市内に居住する30代から80代までの15名を委嘱するとともに「釜石市スポーツ推進委員協議会」を組織し、各公民館や町内会等の様々な団体に出向いてニュースポーツなどを普及する講師派遣事業を実施しているほか、公民館対抗のニュースポーツ交流大会を令和元年度よりスタートしております。その他、市などとの共催事業等を実施していますが、生涯スポーツを推進するうえで、さらなる活動の充実が必要です。

2. 施策の方向性と具体的な取組

市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ推進委員活動の活発化やスポーツイベントの開催など環境づくりに努め、それぞれのライフステージに応じてスポーツをするきっかけとなるための以下のような取組みを推進します。

■子どものスポーツ

子どもたちの外遊びやスポーツは、心身の健全な発達に良い影響があると同時に成人後の豊かなスポーツライフの基礎となるため、学校、家庭、地域が連携しながらスポーツに親しめる環境を整えます。

■成人のスポーツ

仕事や子育てが中心の成人層では、仕事帰りや休日、家事や育児の合間などで個々の生活リズムに合わせたスポーツに親しむ機会を提供します。また、競技スポーツのほか生活習慣病等に対応するスポーツの環境についても検討します。

■高齢者のスポーツ

スポーツは、高齢者にとっても健康や生きがいづくりの重要な要素となりますので、それぞれの運動能力に合わせたスポーツの機会の提供と、参加する機会の拡大を図ります。

■障がい者のスポーツ

誰もが一緒にできるスポーツの魅力を生かして、スポーツを通じて様々な人との相互理解を深めるような取組みを関係団体と連携し進めます。

(1) スポーツ推進委員活動の展開

スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法 32 条に基づき市町村が委嘱する非常勤職員で、市町村におけるスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、市民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うことを目的に設置されています。当市においては、市民が健康になれるまちづくりの一環として、老若男女問わずスポーツに触れる環境づくりとして生涯スポーツを中心ニュースポーツや健康体操などの活動を展開してまいります。

・スポーツ推進委員活動推移

区分	令和 1 年度		令和 4 年度		令和 8 年度		令和 13 年度	
	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員
自主活動	17回	32名	12回	34名	15回	40名	18回	46名
市主催事業補助	2回	15名	3回	20名	3回	20名	4回	25名
研修参加	3回	17名	4回	20名	4回	20名	4回	20名
計	22回	64名	19回	74名	22回	80名	26回	91名

※市主催事業補助は「健康マラソン、仙人峠マラソン、健康のつどい」としている。

・スポーツ推進委員活動

区分	04~06 年度	07~09 年度	10~13 年度
公民館対抗ニュースポーツ交流大会			
ニュースポーツ啓発事業			
健康教室等			
スポーツ推進委員研修			
釜石市民運動会（仮称）			
自治体事業へのサポート			
関係機関との連携			



(2) 市民スポーツ大会（イベント）の開催

市民を対象としたスポーツイベントは、釜石健康マラソン大会・公民館対抗ニュースポーツ交流大会や、各競技団体が主催する各種大会のほか、スポーツ推進委員及び健康運動実践指導者の活動と、競技スポーツから生涯スポーツと幅広い階層、年代を対象に取組まれています。

スポーツ大会においては、コロナ禍によりここ数年開催できていない状況がありますが、新たな生活様式を取り入れ、歴史ある各種大会を継続させるほか、ラグビーのまちとして発展することを視野に入れつつ、多様なスポーツ競技大会やイベントを取り入れ市民が参加できる環境を推進します。

健康長寿・引きこもり防止策として取組んでいる健康体操などは震災後に本格化し、現在では地域の活動と位置付けられ更なる発展が見込まれ、継続的な充実を図るためにも府内や関係機関で横断的に連携を図り事業を推進します。

・スポーツ大会（イベント）活動

区分	04～06 年度	07～09 年度	10～13 年度
釜石健康マラソン大会の開催			➡
仙人峠マラソン大会開催への支援			➡
ラグビックドリーム事業への支援			➡
リーグワン釜石会場開催への支援			➡
釜石はまゆりトライアスロン国際大会への支援			➡
釜石市オープンウォータースイミング大会への支援			➡
健康活動事業への支援			➡
各種スポーツ教室の実施			➡



(3) スポーツ講習会等の開催

スポーツを取り巻く環境において、これまでのライフステージに併せて変化しスポーツに触れる環境が整ってきております。現在ではプレイヤー・指導者・関係者夫々の立ち位置が確立している中で、日本スポーツ協会では、関係機関と連携を図り、昭和40年からスポーツ指導者の養成を開始し、現在は、公認スポーツ指導者資格として5つの領域にわたる18種の資格を設け、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者が育成されております。

当市ではこれまで、競技スポーツを中心として指導者等の講習会を行っておりましたが、改めて競技・生涯共にスポーツの環境を更に整える必要性があり、スポーツに携わる方やサポートする方など、スポーツに関わる全ての方々を対象に専門知識のスキルを向上してもらう事を目的に、更には日本スポーツ協会が、目指す「良好・幸福な状態」を作り上げるためにも講習会等を実施します。

スポーツ講習会事業

区分	04~06年度	07~09年度	10~13年度
小中高生対象スポーツ講習事業 体力づくり・生活習慣等		██████████	██████████
生涯スポーツ講習事業 ニュースポーツ・健康づくり等	██████████	██████████	██████████
体協・各種団体対象スポーツ講習事業 トレーニング指導・外傷予防等		██████████	██████████
競技者対象各種スポーツ講習事業 トレーニング指導・外傷予防等		██████████	██████████
スポーツ推進委員対象スポーツ講習事業 健康教室指導・ニュースポーツ等	██████████	██████████	██████████



基本目標 2. スポーツによる交流人口の創出

1. 現状と課題

釜石市は、近代製鉄発祥の地として、東北有数の重工業都市とし繁栄を築いてきた1963年には県下第2位の人口92,123人を数えました。しかしながら鉄鋼産業の縮小、第一次石油危機、急速な円高不況、バブル崩壊の影響も受け、当市の人口も現在まで減少の一途を辿っています。2011（平成23）年には東日本大震災も追い打ちをかけ、現在（2022（令和4）年）の人口は31,031人、2040年には21,503人まで減少する予測も示されています。人口減少及び少子高齢化が進むことによりコミュニティの持続存続や経済的にも縮小するなど負のスパイラルに陥っていく可能性があります。

全国的にこの様な課題を抱えている自治体も多く、このような課題を解決すべく、スポーツ庁ではスポーツ大会・合宿・イベント等への参加や観戦を目的として地域を訪れたり、地域資源とスポーツが融合した観光を楽しむスポーツツーリズムを実施し、地方誘客による交流人口の拡大、幅広い関連産業の活性化や関連消費の拡大等、地域活性化に取組んでいます。

当市においても、スポーツを通じた地域・経済活性化を目的として、観光分野、いわてスポーツコミッショナードと連携を図り、各種大会や合宿の誘致を推進し人的・経済的交流の拡大に取り組むほか、更には姉妹都市や、協定締結している各種団体、企業とスポーツを核とした地域活性化に向けた取組を併せて推進します。

また、スポーツを通じた交流活動では、富山県朝日町とビーチボールを、愛知県東海市とは多種目にわたり相互に交流が行われており、これからも継続した息の長い取組が必要です。



2. 施策の方向性と具体的な取組み

スポーツの持つ多様な力を活用し、当市への経済効果の創出を図ることとし、スポーツと観光などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することで地域・経済の活性化を推進します。行政・スポーツ団体・観光産業等の民間企業が一体となり地域の特色を活かしたスポーツツーリズム資源の開発、イベントの開催や大会・合宿の誘致等により、交流人口の増加を図ります。

(1) 姉妹都市等とのスポーツ交流

姉妹都市及び友好都市においては、教育、文化、福祉、産業経済等の各分野にわたる交流により更なる友好を深め、地域の活性化を図る目的があります。これを受け、スポーツを素材とした交流をこれまでにも実施しておりますが、今後も更なる継続性を持ち、交流により芽生えた繋がりを市民の財産とできるように東海市及び朝日町とのスポーツ交流を継続的に実施するほか、ラグビーワールドカップ2019日本大会で築き上げた関係機関とも新たな交流が図れるよう推進してまいります。

・スポーツ交流事業

区分	04~06年度	07~09年度	10~13年度
東海市スポーツ交流事業 各種競技小中学生交流			→
朝日町ビーチボール大会 成人大会参加交流			→
東海市・袋井市ラグビー交流事業 小学生ラグビー交流			→



(2) スポーツ大会の開催

釜石市では、歴史のある釜石健康マラソンやはまゆりトライアスロン国際大会など多くの歴史のある大会が継続的に実施されております。近年では、希望郷いわて国体、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会を契機として新たなスポーツ大会も、開催されております。

今後は、これまでの大会の持続と、施設の有効活用・地域活性化を目的とした新たな大会やイベントを関係団体と連携を図り積極的に展開してまいります。

・主なスポーツ大会事業

区分	04~06 年度	07~09 年度	10~13 年度
釜石健康マラソン大会	→	→	→
釜石仙人峠マラソン大会	→	→	→
釜石市はまゆりトライアスロン国際大会	→	→	→
釜石オープンウォータースイミング大会	→	→	→
ラグビックドリーム事業の開催	→	→	→
中学校・高等学校各種大会の誘致	→	→	→



(3) 市内各地域間でのスポーツ交流

一地域に留まらず、広域的にスポーツを通じた交流を行うことにより、市全体での健康増進につなげ、交流の輪を広げるよう取組みます。

- 地域間スポーツ交流

区分	04~06年度	07~09年度	10~13年度
公民館対抗ニュースポーツ交流大会			➡
釜石市民運動会（仮称）			➡



(4) 合宿誘致の推進

競技スポーツでの合宿を市内に誘致することにより、市民の競技力向上に資する機会を創出するとともに、市内スポーツ施設の有効活用、交流人口の増大及び地域の活性化を図ります。

- スポーツ合宿受入

区分	04~06年度	07~09年度	10~13年度
中高生のスポーツ合宿誘致			➡
大学生のスポーツ合宿誘致			➡
社会人・プロチームの合宿誘致			➡



基本目標 3. スポーツ関係団体等との連携強化

1. 現状と課題

釜石市では、人口の減少や少子高齢化に伴い、スポーツにふれる機会の一つであるクラブ活動やスポーツ少年団活動の継続が年々困難となり廃部や、縮小・合併傾向にあり、小中学生のスポーツの選択肢が狭まりつつあります。

また、指導者的人材確保も課題となっておりますが、今日の社会・経済等の変化により、学校や地域・協会等の実技指導力を持った指導者の確保が年々困難となっています。

このような課題は全国的現象であり、この課題に対しスポーツ庁の有識者会議において、学校の働き方改革を踏まえ、公立中学校の運動部活動の指導を、休日は地域や民間のスポーツ団体などに委ね、部活の「地域移行」を2023～25年度の3年間で達成するとの目標を盛り込んだ提言案が示されました。

この提言では、総合型地域スポーツクラブなどが受け皿になることを想定しており、当市でも2団体が実在はするものの、全ての競技活動を受け入れ可能な環境とはなっておりません。今後は新たな総合地域スポーツクラブの検討をするほかに、競技毎の団体の受入れが適しているケースもあり、移行実現に向けた各団体との連携やサポートが必要となります。

また、国の第3期スポーツ基本計画において、スポーツを「つくる/はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」の3つの視点により、全ての人が自発的にスポーツに取組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と絆の強い社会を目指すことを目標としております。この目標を達成するためにも、釜石市体育協会及び加盟スポーツ団体等との連携のもと、選手及び指導者の育成と強化に取り組むほか、将来的な競技スポーツの振興も視野に、スポーツ少年団などの活動も支援します。

また、勤労者の活動の場を提供すると同時に、企業に対してもスポーツすることができるような環境づくりについて働きかけます。

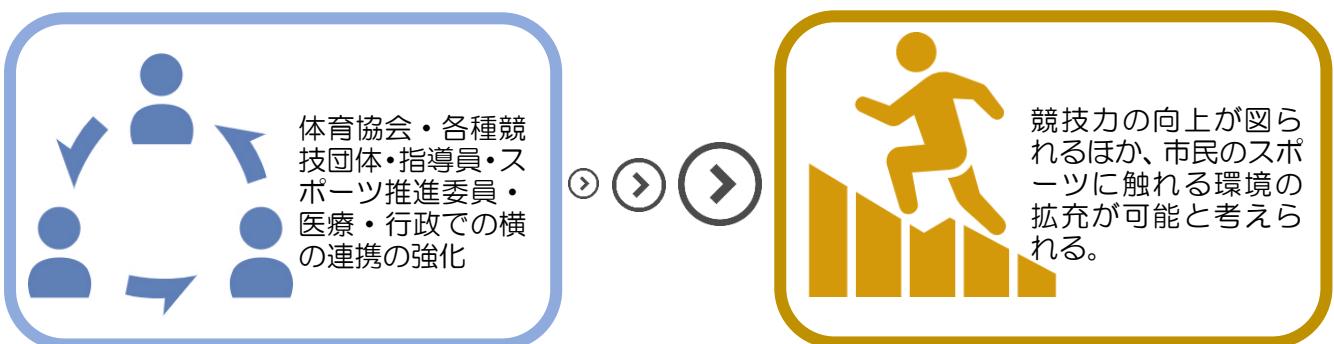
2. 施策の方向性と具体的な取組

スポーツに関する地域における人材の発掘に努めると同時に、必要に応じて外部からの指導者等を招へいし、関係機関と連携しながら生涯スポーツを推進します。学校体育においても、指導力を持った人材を活用することで体位、体力の向上を図ります。また、スポーツ推進委員をはじめとする各種団体のほかに、健康や医・科学の面においても県や大学等との連携を深めます。

(1) 関係団体との連携と支援

生涯にわたっての豊かなスポーツライフの実現と競技力の向上のためには、行政と民間、スポーツに関連する各種団体同士はもちろんのこと、生涯スポーツと競技スポーツ、健康分野とスポーツ分野、学校体育と成人スポーツなど各種連携と協力が不可欠です。したがって今後は、釜石市体育協会をはじめとして関係機関、団体との連絡調整を一層強化していかなければなりません。

生涯スポーツにおいては、スポーツ推進委員と釜石市体育協会と連携を図り健康運動実践指導者等の活動において、市民スポーツの底辺を拡大していきますし、競技スポーツでは、各種競技団体と連携により強化を図るほか、特にラグビーワールドカップ2019日本大会岩手・釜石開催の取組や、盛り上がり等を継承し、釜石シーウェイブスラグビーフットボールクラブや地域及び企業等と連携し、釜石市のラグビーを活かしたまちづくりとして「ラグビーのまち未来構想」を立ち上げ、推進します。



(2) 大学チーム等との連携

大学スポーツは、スポーツ基本計画において、「豊富なスポーツ資源（人材、施設、知識など）を有し、大学スポーツを通じて地域社会の発展を支える存在として地域で重要な地位を占めている。」と示されており、こうした大学スポーツの潜在価値を引き出し、大学スポーツそのものの裾野の拡大と振興を図るとともに、大学スポーツによる地域振興を促進することが重要と捉えています。当市においても、大学等のチームと連携を図ることでスポーツを「する」「みる」「ささえる」が実現し、地域貢献、地域活性化が図られるほか、大学スポーツにおいても学生や大学を総合的に支援することが可能となり、相互にスポーツを通じて向上できることを目的とします。

復興支援を契機とした大学生によるスポーツ教室（サッカー）

回数	支援大学生 参加人数	市内参加団体数
7回	110名	21団体

※上記の他、文化においても大学生による
理科教室等を開催している。



(3) 学校との連携及び支援

学校の運動部活動は、学校教育の一環として行われスポーツ振興を大きく支え、また、体力等の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で人間関係の構築を図るなど、生徒の多様な学びの場としておりましたが、教育等に関わる課題が複雑化・多様化していることと、著しい少子高齢化に伴い中学校においては、運動部活動の廃部や休部、活動の縮小傾向にあり、運動部活動においては、従前と同様の運営体制では維持は難しくなってきており、学校や地域によっては存続の危機にあります。

国においても、スポーツ庁では、文部科学省で有識者による「運動部活動の地域移行に関する検討会議」を開き、公立中学校の休日の部活指導を民間スポーツ団体などの地域に委ねる「地域移行」を、2023~25年度の「改革集中期間」で進めることを提言しています。

当市においても、少子化により運動部活動は既に一部低下しており今後も衰退することが想定されることから、学校・教育委員会・体育協会と連携を図り、子どものスポーツに取組める環境づくりを推進してまいります。

市内中学校の部活動所属者数

(単位：人)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	令和12年度
野球	62	63	55	55.1	48.0
サッカー	48	51	42	44.6	38.9
男子ソフトテニス	17	28	28	24.5	21.3
女子ソフトテニス	40	43	45	37.6	32.8
陸上	42	38	38	33.2	29.0
男子バスケットボール	49	58	50	50.7	44.2
女子バスケットボール	29	27	28	23.6	20.6
男子バレーボール	16	13	7	11.4	9.9
女子バレーボール	52	45	51	39.3	34.3
男子バドミントン	57	54	51	47.2	41.1
女子バドミントン	64	71	59	62.1	54.1
卓球	85	83	72	72.5	63.2
剣道	17	17	14	14.9	13.0
吹奏楽	70	69	73	60.3	52.6
総合文化	38	32	22	28.0	24.4
無所属	0	1	5	0.9	0.8
	686	693	640	605.7	528.1

※令和7.12年は基本目標内の「釜石市人口および年齢3区分別人口の推移・推計」により年少人口の割合と令和2年度クラブ在籍実数を参考に推計したもの。

(4) 総合型地域スポーツクラブの支援

総合型地域スポーツクラブは、身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブであり、子どもから高齢者まで、様々なスポーツを愛好する人々が、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるものです。地域住民により自主的・主体的に運営され、地域スポーツの担い手育成や地域コミュニティの核としての役割も担っているものです。

当市の総合型地域スポーツクラブは、現在2団体が登録・活動しておりますが、人口減少、少子化などによる人材不足と活動に必要な財源、活動拠点となる施設の確保が課題である中で、なかなか団体が増えない状況にあります。

地域住民の誰もが気軽にスポーツを楽しめる場として、総合型地域スポーツクラブの果たす役割は今後も重要なことが想定されることから、今後の育成と発掘について関係機関と連携し取組みます。

また、今後想定される中学校運動部活動の地域移行についても、スポーツ少年団、クラブチームなど既存の競技団体のほか、総合型地域スポーツクラブも受け皿になりうことから、総合型地域スポーツクラブの質的充実を図るために情報提供など取込んでまいります。

- ・総合型地域スポーツクラブの団体数推移

区分	令和1年度	令和4年度	令和8年度	令和13年度
団体数	2	3	4	8

※将来的に市内8地区生活応援センター単位での団体設置を目指とする。



基本目標4. スポーツ施設の利用促進

1. 現状と課題

釜石市には、震災以前は市民体育館や市営プール、陸上競技場、平田公園野球場などのスポーツ施設がありましたが、東日本大震災の影響によりスポーツ施設の環境が変化し、市民のスポーツの場を整える必要性が生じました。

また、希望郷いわて国体のラグビー競技の受け入れや、ラグビーワールドカップ2019 日本大会の釜石開催が決定されたことに伴う新たな施設整備も進めることとし、震災後に釜石球技場の新設、釜石市民体育館の災害復旧、鵜住居復興スタジアムが整備され、市民スポーツの場が拡充され気軽にスポーツに親しむ環境が充実されました。

また、令和元年の台風第19号の影響により被災を受けた平田公園野球場も災害復旧や、企業からの支援により整備され、殆どの競技が可能となり施設の環境は充実されました。しかしながら、その他の既存施設は老朽化による維持が課題となっていることや、震災前にあった一部施設が削減されていることから、利用者の希望を叶え、さらなるスポーツ施設の環境を整備することが課題となっております。

施設の運営においても、指定管理者制度を導入しており、環境の変化に併せた効率化や充実拡大が求められています。

2. 施策の方向性と具体的な取組

釜石市では、多岐にわたり各種施設を保有しており、将来的に、これらの公共施設等が更新時期を迎えることに伴い、老朽化した施設の建替えや大規模改修などが必要となる一方で、厳しい財政状況や、人口減少と少子高齢化を理由とし、公共施設等の更新費用や維持管理費用を確保することが課題となっています。

このような状況のなかで持続可能な行政経営を行い、時代とともに変化するニーズに適切に対応していくため、既存施設の有効活用や効率的な施設の保全管理を計画的に進めていくことが必要であり、令和3年に策定された「釜石市建築系公共施設等個別施設管理計画」に基づき各施設の維持管理計画や長寿命化計画等を策定し、公共施設等の維持管理・更新の適正化を進めます。

（1）スポーツ施設の適正管理

市内には、屋外屋内併せて14カ所のスポーツ施設が整備されており、最も長いもので昭和43年（1963年）から供用されている市民プールの他、老朽化した複数の施設があります。その他、震災後に新たに設置された施設や、耐震補強された施設もありますが、全ての施設において、市民や施設を利用する全ての人々が、スポーツに親しみ・スポーツを楽しみ・スポーツを支える活動に参画できるよう適正に管理すること

を推進します。

また、鶴住居復興スタジアムを除く全ての施設において、安心で安全で魅力的な運営、管理することを念頭に、官民一体となった取り組みを実現すべく指定管理者との間で管理協定を締結し利用促進の充実を図ります。なお、鶴住居復興スタジアムにおいては、別途管理運営計画を策定し適正な管理を行います。

・スポーツ施設の状況

区分	供用年度	供用期間	構造・階数	※施設管理方針
釜石市球技場	平成 28 年度	6 年	R・2 階	
釜石市民弓道場	平成 22 年度	12 年	W・平屋	I 現状維持
釜石市市民相撲場	平成 10 年度	24 年	W・平屋	I 現状維持
桜木町多目的広場	平成 10 年度	24 年		
昭和園クラブハウス	昭和 62 年度	35 年	W・平屋	
釜石中妻体育館	平成 18 年度	16 年	R・平屋	II 有効活用④
市民交流センター	昭和 47 年度	50 年	RC・5 階	III サービス維持②
市営プール	昭和 43 年度	54 年	RC,R・平屋	III サービス維持②
平田公園野球場	平成 5 年度	29 年	RC・2 階	I 現状維持
平田公園多目的広場	平成 5 年度	29 年		
平田公園クラブハウス	平成 12 年度	22 年	W・平屋	I 現状維持
唐丹グラウンド	昭和 52 年度	45 年		
釜石市民体育館	令和元年度	3 年	RC・2 階	I 現状維持
鶴住居復興スタジアム	平成 30 年度	4 年	R・3 階	I 現状維持

※釜石市建築系公共施設等個別管理計画による



(2) スポーツ施設の整備

震災復興によりスポーツ施設の整備の一環として、これまで市営プール・中妻体育館・市民交流センターの修繕補修を行い、釜石球技場・釜石市民体育館・釜石鵜住居復興スタジアムが新設されました。

一方で、復興整備により一部の既存施設が消滅しており、競技者や団体からは再開を望む声も多くあります。当計画において「生涯スポーツ社会を目指し市民一人ひとりが主体的にスポーツに触れる。」を基本方針としており、市民のスポーツ環境を更に向上させる必要があることから、都度、各種協会及び釜石市スポーツ推進審議会と協議を重ね新たな整備について検討します。

・今後整備・改修が必要となる施設

区分	区分	内容
屋外テニスコート	新設	オムニコート4面・ナイター・観戦席を予定
陸上トラック	新設	6レーン・400M トラック・投げきを予定
市営プール	改修	屋外プール・屋内プールの施設改修を予定
釜石球技場	改修	人口芝全面の張替え改修を予定
屋外施設照明	改修	既存照明のLED化改修を予定



(3) 合宿誘致の推進 <再掲>

スポーツ施設を整備したことによる新たな課題として、利用促進の推進や施設管理の維持経費の捻出などが課題となります。円滑な施設管理運営や、市民のスポーツによる健康意識の向上、更には施設を活用したことによる交流人口の拡大を図ることを目的として多くのスポーツ合宿誘致を図ることとします。

令和2年度末より、スポーツ合宿受入に係る制度を充実させ既に受け入れを行っており、ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー事業も同時に実施していることから、高校・大学のラグビー部の受入れが中心となっているものの、全ての施設の円滑な活用を念頭に岩手スポーツコミッションと連携を図りながら、種目に限定せずに合宿の誘致や受け入れを推進します。



・スポーツ合宿受入推移

(単位：団体)

区分	令和元年度	令和4年度	令和8年度	令和13年度
少年団競技団体	0	2	4	4
高校競技団体	0	10	10	15
大学競技団体	0	2	4	4
社会人等競技団体	0	2	2	2

・スポーツ合宿誘致実績

No.	実施日	内 容	施設・宿泊数
1	R2.7.23 ～25	黒沢尻工業高等学校・一関工業高等学校・仙台育英学園高等学校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム他 宿泊：68名×2泊
2	R2.9.19 ～21	盛岡工業高等学校・青森山田高等学校・札幌山の手高等学校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム他 宿泊：155名×2泊
3	R2.12.11 ～13	盛岡工業高等学校ラグビー部	利用：根浜シーサイド 宿泊：35名×2泊
4	R2.12.11 ～14	秋田工業高校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム他 宿泊：52名×3泊
5	R3.2.6 ～8	秋田工業高校ラグビー部	利用：根浜シーサイド 宿泊：32名×2泊
6	R3.3.29 ～31	金足農業高等学校ラグビー部 青森山田高等学校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム 宿泊：72名×2泊
7	R3.4.3 ～5	報徳学園高等学校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム 宿泊：71名×2泊
8	R3.7.20 ～30	流通経済大学柏高等学校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム他 宿泊：60名×5泊、42名×5泊
9	R3.7.23 ～24.28.29	仙台育英学園高等学校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム他 宿泊：36名×1泊、18名×1泊
10	R3.7.27 ～30	佐沼高等学校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム他 宿泊：32名×3泊
11	R3.7.23 ～24	東福岡高校ラグビー部	利用：釜石鵜住居復興スタジアム 宿泊：49名×3泊
12	R3.11.13 ～14	岩手県ラグビー中学校選抜	利用：釜石鵜住居復興スタジアム他 宿泊：50名×1泊
13	R3.11.13 ～14	北海道ラグビー中学校選抜	利用：釜石鵜住居復興スタジアム他 宿泊：50名×1泊

第3章 事業の推進にあたって期待される各々の役割

釜石市スポーツ推進計画は、行政やスポーツ団体だけでなく、実際にスポーツに親しむこととなる市民はもちろんのこと、医療機関や企業など様々な主体の協働によってその目的が達成されるものです。このため、これらの関係機関や団体の役割分担と連携のもとに計画を推進し、本市のスポーツを振興します。

1. 行政及び団体

(1) 釜石市・釜石市教育委員会

釜石市第六次総合計画に基づき、本計画の基本目標であるスポーツを通した「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」を目指し、釜石市の実情や他自治体と比較しての特異性、優位性、欠けているものなどを踏まえ、庁内関係部署や関係団体等との連絡調整を図りながら率先し、また協働の体制によって事業を展開します。

(2) 釜石市体育協会等スポーツ団体

スポーツを通じた市民の健康増進、健康長寿の向上、明るい市民生活の実現のため、各種スポーツ大会やスポーツ教室、指導者育成、選手の強化に積極的に取組み、スポーツを通じた「楽しみや喜び」を市民に提供すると同時に、体育協会においては、各種競技団体等との連携を一層強固にし、協力し合うことでスポーツ人口の拡大やスポーツの普及に努めます。

(3) 釜石市スポーツ推進委員協議会

当市におけるスポーツの推進のため、事業実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導やスポーツに関する指導及び助言を行うこととされており、釜石市の風土に合った多様なニーズに対応するため、地域におけるスポーツの推進役として行政と市民の接点となり、スポーツの楽しみ方の啓発や動機付けなどに取組むことによって、本計画の実現を目指します。

(4) 各学校等

小・中学校や高校では、児童・生徒の体力や体位の向上と運動する機会を確保するため、学校体育及び運動部活動の充実に取組みます。また、今後中学校部活動が地域に移行することにおいて学校や、体育協会・関連する団体と連携支援を図り、児童を取り巻くスポーツ環境の整備を推進します。

(5) P T A・町内会等

子どもたちも含めた地域の様々な階層のスポーツ環境を充実し、参加意欲を高めるために、学校や公民館を中心としたスポーツ活動に積極的に参加すると同時に、様々な場面において協力します。さらに自らも、参加しやすいスポーツイベントやスポーツを通じた地域の活性化に向けた自主的な活動についても実施します。

2. 市民

市民は、健康や体力づくりに関心を持ち、スポーツ活動に取り組みます。特に、スポーツを「する」だけでなく、「支える・観戦する」活動やスポーツによる交流活動についても積極的に参加します。

特にも、復興によりコミュニティーが再構築されており、新たなコミュニティーの保持に努め、スポーツを通じた友好な地域づくりが進められることを期待します。

3. 関係機関等

(1) 企業等

企業等の福利厚生の一環として、また、イメージ向上のためにも、市や各種団体等の人材なども活用しながら従業員のスポーツ活動への参加を促します。同時に、企業において保有する施設、指導者、情報等の資源を提供します。

(2) 民間スポーツクラブ・サークル

自らスポーツ活動を行い競技力の向上に努めるだけでなく、市民のスポーツ活動の受け皿としても協力し、また、各種スポーツイベントなどにも参加して、スポーツに関しての機運を盛り上げます。

(3) プロ・実業団チーム

リーグや大会などの活躍のほか、交流イベント、子どもたちがスポーツに親しむ活動、地域行事などへの参加を通じてスポーツへの理解と関心を高めるとともに、市民が愛着を持って応援できるようなチームになることが期待されます。また、市内外への指導者の派遣、その他競技力の向上に資する活動によってスポーツ全般に対する動機付けを促します。

(4) 医療機関等

体力づくり、健康づくりの一環としてのスポーツを生活の中に効果的に取入れるよう、市や関係機関、各団体と連携を図り協力関係を構築します。

資料編

釜石市のスポーツ関連施設

(1) スポーツ施設の状況

施設名	設置年度等	施設内容
釜石市球技場	平成 28 年度	人口芝ピッチ、クラブハウス、夜間照明設備 ラグビー：1面（114m×70m） サッカー：1面（105m×68m）
釜石市民弓道場	平成 22 年度	近的 6 人立ち
釜石市民相撲場	平成 10 年度	56 m ²
桜木町多目的広場	平成 10 年度	6,663 m ²
昭和園クラブハウス	昭和 62 年度	事務室・集会室
釜石中妻体育館	平成 18 年度	600 m ² （バレー1面、バスケット1面、バドミントン2面）
市民交流センター	昭和 47 年度	体育館 648 m ² （バレー1面、バスケット1面、バドミントン2面）
市営プール	昭和 43 年度	屋外（25M、50M（日水連公認））屋内（25M 温水）
平田公園野球場	平成 5 年度	グラウンド 13,300 m ² 、両翼 95m、センター 120m 建物（管理棟等） 1,056 m ² 、夜間照明
平田公園多目的広場	平成 5 年度	メイングラウンド 10,080 m ² サブグラウンド 6,300 m ²
平田公園クラブハウス	平成 12 年度	事務室・多目的ホール・会議室・シャワー室
唐丹グラウンド	昭和 52 年度	グラウンド 10,002 m ²
釜石市民体育館	令和元年度	アリーナ 1,460 m ² 館内空調完備、観客席 776 席、ロッカールーム 2 箇所、医務室 放送室等、駐車場
鵜住居復興スタジアム	平成 30 年度	メイングラウンド（天然芝） 11,000 m ² （130×80） 監理事務棟（更衣室、シャワー室等）、やぐら棟、駐車場（240 台） 屋外トイレ 5 箇所

(2) 学校開放施設の状況

子どもたちの安全な遊び場を確保すると同時に、スポーツ及び生涯学習の普及促進のため、学校教育に支障の無い範囲で市内小・中学校の施設を開放しています。

学校名	設置年度	体育館面積	備 考
釜石小学校	昭和 55 年度	700 m ²	
双葉小学校	平成 15 年度	720 m ²	
白山小学校	平成 4 年度	831 m ²	
平田小学校	昭和 61 年度	919 m ²	
小佐野小学校	昭和 49 年度	1,248 m ²	
甲子小学校	昭和 59 年度	1,102 m ²	
鵜住居小学校	平成 28 年度	1,055 m ²	東中と併用（第 1 : 640 m ² 、第 2 : 365 m ² ）
栗林小学校	昭和 45 年度	700 m ²	校庭に夜間照明有
唐丹小学校	平成 28 年度	859 m ²	唐丹中と併用（第 1 : 620 m ² 、第 2 : 239 m ² ）
釜石中学校	平成 17 年度	1,556 m ²	格技場有
甲子中学校	昭和 59 年度	1,237 m ²	校庭に夜間照明有
釜石東中学校	平成 28 年度	1,055 m ²	鵜住居小と併用（第 1 : 640 m ² 、第 2 : 365 m ² ）
唐丹中学校	平成 28 年度	859 m ²	唐丹小と併用（第 1 : 620 m ² 、第 2 : 239 m ² ）
大平中学校	平成 8 年度	918 m ²	校庭に夜間照明有
計 14 校（小 9・中 5）			

(3) 公民館の状況

市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図ることによって生活文化の振興と社会福祉の増進に資するため、各地区に公民館及び公民館分館を設置しています。

公民館（分館）名	設置年度	面 積	備 考
釜石公民館	平成 25 年度	165.00 m ²	東日本大震災の影響による復旧
平田公民館	平成 30 年度	329.57 m ²	東日本大震災の影響による復旧
中妻公民館	平成 27 年度	421.42 m ²	災害復興住宅内へ移設
甲子公民館	昭和 58 年度	374.00 m ²	
砂子渡分館	平成 31 年度	91.36 m ²	
小佐野公民館	昭和 50 年度	990.00 m ²	
野田団地分館	平成 25 年度	131.07 m ²	災害復興住宅内へ移設
鵜住居公民館	平成 29 年度	502.76 m ²	東日本大震災の影響による復旧
仮宿分館	昭和 52 年度	66.24 m ²	
栗橋公民館	平成 5 年度	83.00 m ²	
中村分館	昭和 35 年度	292.56 m ²	
横内分館	昭和 37 年度	290.00 m ²	
唐丹公民館	平成 27 年度	398.43 m ²	災害復興住宅内へ移設
本館 8、分館 5			

各種データ

表 1 市民 1 人あたりのスポーツ施設利用回数

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
スポーツ施設利用状況	148,304	143,975	151,875	182,103	157,719	166,656
学校開放利用者数	78,975	74,635	73,503	58,137	47,792	37,103
計	227,279	218,610	225,378	240,240	205,511	203,759
年度末人口	35,005	34,240	33,437	32,069	31,302	30,696
市民 1 人あたり利用回数	6.49	6.38	6.74	7.49	6.56	6.63

表 2 体育施設の利用状況

(単位: 人)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
釜石市球技場	62,705	58,828	60,538	55,356	52,154	52,422
釜石市民弓道場	2,808	2,487	2,569	2,314	1,322	1,209
桜木町多目的広場	—	—	—	—	—	—
昭和園クラブハウス	9,222	9,075	8,833	9,339	5,566	6,568
釜石中妻体育館	8,717	7,505	7,075	6,488	6,778	8,460
市民交流センター	9,406	13,525	12,677	11,458	8,795	10,559
市営プール	39,749	38,131	29,841	31,696	24,360	27,501
平田公園野球場	15,697	14,000	11,039	12,693	6,700	10,688
平田公園多目的グラウンド	—	—	—	—	—	—
平田公園クラブハウス		424	1,044	1,270	734	458
唐丹グラウンド	—	—	—	—	—	—
釜石市民体育館				6,373	20,049	25,049
鵜住居復興スタジアム			18,259	45,116	31,261	23,742

※桜木町多目的広場・平田公園多目的グラウンドは令和 2 に応急仮設住宅解体に伴い復旧。

表 3 釜石市体育協会加盟団体数

(単位: 団体)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
加盟団体	37	37	37	37	37	38

表 4 スポーツ少年団の活動状況

(単位: 団体、人、%)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
加盟団体	25	26	24	24	21	21
指導者数	139	130	118	117	98	99
加盟団員数	441	462	451	473	421	395
市内児童数	1,410	1,333	1,275	1,291	1,238	1,240
加入率	31.3	34.7	35.4	36.7	34.1	31.9

表5 スポーツ少年団の種目別団員数

(単位：人)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
野球	140	131	110	102	79	62
ラグビー	22	31	29	47	65	57
サッカー	41	46	54	77	67	67
バスケットボール	84	87	89	84	66	59
バレーボール	33	31	29	29	27	31
ソフトテニス		10	18	19		13
剣道	39	38	35	32	29	27
柔道	10	12	10	10	13	13
空手	72	76	77	73	75	66
計	441	462	451	473	421	395

表6 スポーツ推進委員の活動状況

(単位：回、人)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
派遣回数	18	31	14	20	7	9
講師派遣者数	29	65	40	50	17	23
受講者数	1,296	1,149	598	930	195	363

表7 学校開放の利用状況

(単位：団体、人)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用団体数	1,179	1,124	1,201	1,036	830	743
利用者数	78,975	74,635	73,503	58,137	47,792	37,103
登録団体数	134	124	129	125	118	116

表8 健康マラソン大会の参加者数

(単位：人、千円)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
高校生以下	391	384	312	253	147	—
一般	44	23	23	20	32	—
計	435	407	335	273	179	—
決算額	1,201	1,195	1,167	1,140	1,011	—

表9 仙人峠マラソン全国大会の参加者数

(単位：人、千円)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
峠コース	511	431	407	291	—	—
10kmコース	299	236	246	194	—	—
計	810	667	653	485	—	—
決算額	4,000	4,300	4,300	4,300	—	—

※R2,3はコロナ禍により中止

表10 ラグビックドリーム事業等の実施状況

(単位：人、千円)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
来場者数	1,000	1,000	1,000	1,000	無観客	1,000
内容	タグラグビー 大会。釜石SW 対秋田NB	タグラグビー 大会。釜石SW 対東海大学	タグラグビー 大会。釜石SW 対栗田工業	釜石 SW 対清 水建設。ラグビ - クリニック	釜石 SW 対ヤ クルト。Live 配信	釜石 SW アカ デミー対静岡 BRRS。 ラグビ -クリニック
補助金額	1,000	2,000	2,000	2,000	1,000	1,000

表11 釜石はまゆりトライアスロン国際大会の実施状況

(単位：人、千円)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
参加者	—	176	220	107	—	—
補助金額	—	1,000	1,100	1,100	—	—

※H28 国体、R2,3はコロナ禍により中止

表12 釜石オープンウォータースイミング大会の実施状況

(単位：人、千円)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
参加者	174	203	189	—	209
補助金額	500	650	650	—	650

※R2はコロナ禍により中止

表13 各種大会への補助等の状況

(単位：円)

年度	補助額	主な大会名
H27	13,800,000	<ul style="list-style-type: none"> ・第50回岩手県弓道釜石大会事業 ・第34回三陸海岸学童軟式野球大会事業 ・釜石ラグビックドリーム事業 ・第8回鉄と魚のまち釜石潮騒ウォーク事業 ・56回岩手県高等学校新人大会ボクシング競技 ・第10回釜石市長杯スポーツチャンバラ大会事業 ・2015ラグビーの街かまいし活性化事業 <p style="text-align: right;">ほか 参加事業</p>
H28	4,800,000	<ul style="list-style-type: none"> ・第51回岩手県弓道釜石大会事業 ・第68回岩手県民体育大会ボクシング競技 ・第34回三陸海岸学童軟式野球大会事業 ・釜石ラグビックドリーム事業 ・第9回鉄と魚とラグビーのまち釜石潮騒ウォーク事業 ・第11回釜石市長杯スポーツチャンバラ大会事業 ・釜石市ラグビー普及啓発事業 <p style="text-align: right;">ほか 参加事業</p>
H29	7,790,785	<ul style="list-style-type: none"> ・第52回岩手県弓道釜石大会事業 ・第1回釜石オープンウォータースイミング 2017 根浜大会 ・釜石ラグビックドリーム事業 ・釜石市ラグビー普及啓発事業

年度	補助額	主な大会名
		<ul style="list-style-type: none"> ・第 23 回釜石はまゆりトライアスロン国際大会事業 ・第 35 回岩手県還暦軟式野球選手権大会 ・第 35 回三陸海岸学童軟式野球大会 ・第 10 回鉄と魚とラグビーのまち釜石潮騒ウォーク事業 ・東海市スポーツ交流事業 ・第 51 回岩手県柔道選手権大会 ・CBS 少年軟式野球 6 年生選抜大会 ・第 12 回釜石市長杯スポーツチャンバラ大会事業 <p style="text-align: right;">ほか 参加事業</p>
H30	9,159,688	<ul style="list-style-type: none"> ・第 53 回岩手県弓道釜石大会事業 ・第 12 回岩手県古希軟式野球大会事業 ・第 24 回釜石はまゆりトライアスロン国際大会事業 ・第 9 回かまいし仙人峠マラソン大会実行委員会 ・釜石市ラグビー普及啓発事業 ・釜石ラグビッグドリーム事業 ・第 2 回釜石オープンウォータースイミング 2018 根浜大会 ・東海市スポーツ交流事業 ・第 11 回鉄と魚とラグビーのまち釜石潮騒ウォーク事業 ・第 13 回釜石市長杯スポーツチャンバラ大会事業 <p style="text-align: right;">ほか 参加事業</p>
R 1	10,336,026	<ul style="list-style-type: none"> ・第 54 回岩手県弓道釜石大会 ・釜石市ラグビー普及啓発事業 ・釜石ラグビッグドリーム事業 ・第 29 回全日本古希軟式野球大会事業 ・第 25 回釜石はまゆりトライアスロン国際大会 ・第 3 回釜石オープンウォータースイミング 2019 根浜大会 ・東海市スポーツ交流事業 ・第 12 回鉄と魚とラグビーのまち釜石潮騒ウォーク ・第 10 回かまいし仙人峠マラソン大会実行委員会 ・第 36 回全国ビーチボール競技大会 ・東北高等学校ボクシング新人大会 <p style="text-align: right;">ほか 参加事業</p>
R 2	1,581,000	<ul style="list-style-type: none"> ・第 65 回岩手県高等学校新人体育大会柔道競技 ・釜石ラグビッグドリーム事業 ・ライオンズカップ少年サッカー大会 ・スポーツ合宿補助事業 <p style="text-align: right;">ほか 参加事業</p>
R 3	2,325,350	<ul style="list-style-type: none"> ・第 5 回釜石オープンウォータースイミング 2021 根浜大会 ・第 73 回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技 ・友好都市ラグビー交流事業 ・釜石ラグビッグドリーム事業 ・公民館対抗ニュースポーツ交流大会 ・ライオンズカップ少年サッカー大会 ・スポーツ合宿補助事業 <p style="text-align: right;">ほか 参加事業</p>